

付けたい力〔3 根拠や筋道を明確に表現する力の育成

（1）考えの根拠や筋道を明確にして、説明や論述ができるようにする〕

- ゆみさんたちは、ものがたりを読んで、グループで音読
げきをすることになりました。ゆみさんのグループは、音読
するところに、つぎの場面ばめんをえらびました。

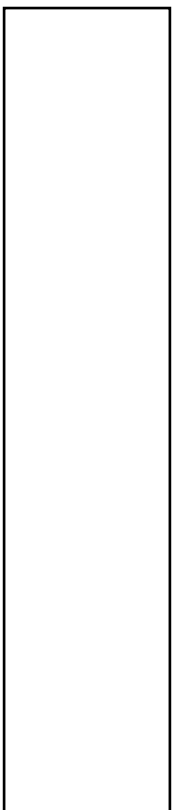
【えらんだ場面】

「でも、来きやしないよ。」
がまくんが言いました。
「きっと来るよ。」
かえるくんが言いました。
「だって、ぼくが、きみに お手紙
出したんだもの。」
「きみが。」

『お手紙』
（光村図書 二年下）
（東京書籍 二年下）



「だって、ぼくが、きみに お手紙 出したんだもの。」と言っ
たのは、がまくんですか、かえるくんですか。



ゆみさんのグループは、えらんだ場面をどのよう
に読むか、自分が考えた読み方について、つたえ合っ
ています。

ぼくは、「**でも、来やしないよ。**」
を、いらいらしているように読も
うと思っています。

どうしてかというと、かえるく
んは、「きょうは、だれかが、がま
くんにお手紙をくれるかもしれな
い」と言うけれど、がまくんは、
今までだれからもお手紙をもらっ
たことがないので、お手紙が来る
はずがないと思っているからで
す。

わたしは、「**きっと来るよ。**」を

読もうと思います。

どうしてかというと、



ゆみさん



しょうたさん

二 ゆみさんは、自分が読むところをじんぶつのようにすがわかるように読むことにしました。**あなたがゆみさんなら、**どのような読もうと思えますか。読もうと思う読み方にかいものを**ア**、**ウ**からえらんで、○をつけましょう。また、そのように読むわけもかきましよう。

わたしは、「**きつと来るよ。**」を

ア 元気よく

イ やさしく

ウ はげますように

読もうと思えます。

どうしてかというと、

一 かえるくん

二(例)

・…イ やさしく(読もうと思います。)

(どうしてかというところ)かえるくんは、いろいろしているがまくんに自分が書いたお手紙がとどくからあん心してほしいと思っているからです。

・…ウ はげますように(読もうと思います。)

(どうしてかというところ)かえるくんは、自分の書いたお手紙がまくんとどいて、元気になってもらいたいと思っているからです。

※正答基準

- ・ 読もうと思う読み方に近いものを、ア～ウから一つえらんでいる。
- ・ 場面の様子などの叙述を基に、かえるくんの気持ちを想像し、読むわけを書いている。

《場面の様子に着目して、登場人物の行動や気持ちを考える》

○指導のポイント

「場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する」とは、着目した場面の様子などの叙述を基に、主人公などの登場人物について、何をしたのか、どのような表情・口調・様子だったのかなどを具体的にイメージしたり、行動の理由を想像したりすることです。本單元においては、かえるくんやまくんの会話文をどのように音読したいのかを考えることを通して、かえるくんやまくんがしたことや、その行動の理由を想像させる指導が大切です。

本單元における指導事項は、令和四年度学習全国学力・学習状況調査において課題が見られた「第三学年及び第四学年」「C読むこと」指導事項(1)イ「登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること」や「第五学年及び第六学年」「C読むこと」指導事項(1)イ「登場人物の相互関係について、描写を基に捉えること」につながるものであるため、本單元における指導事項の一つである(1)イ「場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること」の確実な定着を図ることが求められる。

○活用のポイント

本問題は、「C読むこと」における指導事項、(1)イ「場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること」、(1)エ「場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること」を踏まえた問題です。光村図書二下、東京書籍二下の「お手紙」の学習後、定着を図る問題として活用できるよう設定しました。教科書を手元において、問題に取り組みとよいです。

また、言語活動を音読発表会に設定してありますが、別の言語活動であっても、想像しながら読むことを指導した後に活用することができます。

小学校国語 問題例 【対象 中学年】

付きたい力〔3〕 根拠や筋道を明確に表現する力の育成

(1) 考えの根拠や筋道を明確にして、説明や論述ができるようにする〔

○ 小川さんは、ものがたり「モチモチの木」を読んで、登場人物がどのような人物なのか、考えたことをノートにまとめています。次は【小川さんのノート】です。
これを読んで、あとの問いにこたえましょう。

『モチモチの木』
(光村図書 三年下)
(東京書籍 三年下)

【小川さんのノート】

場面	豆太の行動や会話、様子	豆太についてわかること
おくびよう豆太	・夜中には、じさまについてってもらわないと、一人じゃしょうべんもできない。 ・「やい、木い、モチモチの木い、実い落とせえ。」 ・昼間は木の下に立って、かた足で足ぶみする。	こわがり おくびよう
やい、木い	・「それじゃあ、おらは、とってもだめだ。」とちっちゃい声でなきそうに言った。	弱虫 こわがり
霜月二十日のばん	・大すきなじさまの死んじまうぼうが、もつとこわかったから、なきなきふもとの医者様へ走った。	ゆう気がある やさしい
豆太は見た	・豆太は、じさまが元気になると、そのばんから、しょんべんにじさまを起こす。	おくびよう あまえんぼう
弱虫でも、やさしけりや		

①

に入る言葉は、どれですか。次のア～オから二つえらび、その記号を

書きましょう。

- ア てれや
- イ つよがり
- ウ すなお
- エ れいぎ正しい
- オ いばりんぼう

--	--

二 小川さんはノートに書いたことや教科書をもとにして、「豆太」のせいかくを【登場人物しようかいカード】にまとめることにしました。あなたが小川さんなら、どのようにまとめますか。次の「へじょうけん」に注意して書きましよう。

へじょうけん

○ には、「小川さんのノート」の豆太についてわかることから

つ以上の言葉を取り上げて書くこと。

○ には、書き出しの言葉につづけて、教科書の文章から文や言葉を二つ以上取り上げて書くこと。

【登場人物しようかいカード】

豆太は、

男の子です。

そう考えたのは、

一 イ・オ

二 (例)

・(豆太は、)こわがりだけどゆう気がある(男の子です。)

(そう考えたのは、)冬の真夜中に、モチモチの木をたった一人で見に出るなんて、とんでもねえ話だと言っていたけど、じさまがびよう気になったときは、こわくてもたった一人で、真夜中に医者様をよびに行ったらからです。

・(豆太は、)ゆう気があるやさしい(男の子です。)

(そう考えたのは、)ふだん、夜中には一人でせっちんにも行けないけれど、じさまがびよう気になったときは、こわくても真夜中に一人で医者様をよびに行ったらからです。

※正答基準

〔 〕の記述は、複数の叙述をもとに書かれている。

《登場人物がどんな人物かを考える》

○指導のポイント

物語文を通して、「登場人物の気持ちや性格について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像すること」を指導します。このお話は、場面の移り変わりによって、揺れ動く豆太の気持ちや描かれ、しかも豆太の性格が多面的に描かれています。複数の叙述を結び付けながら、豆太の気持ちの変化を見いだして想像したり、豆太の境遇や状況を把握し、物語全体に描かれた行動や会話に関わる複数の叙述を結び付けたりしながら、豆太の性格を具体的に想像することが大切です。

令和四年度学習全国学力・学習状況調査において、本単元の指導事項が踏まえられた設問では、課題が見られました。令和四年度「基礎学力調査」―分析・考察と指導事例―の事例や令和四年度全国学力・学習状況調査報告書の授業アイデア例などを参考にしながら、指導を工夫することが大切です。

○活用のポイント

本問題は、「C読むこと」における指導事項、(1)エ「登場人物の気持ちの変化や性格について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像すること」を踏まえた問題です。光村図書三下、東京書籍三下の『モチモチの木』の学習後、定着を図る問題として活用できるように設定しました。教材文から根拠となる叙述を抜き出せるように、教科書を手元において、問題に取り組むとよいです。単元末に、学習したノートを活用しながら、本問題に取り組むこともできます。